

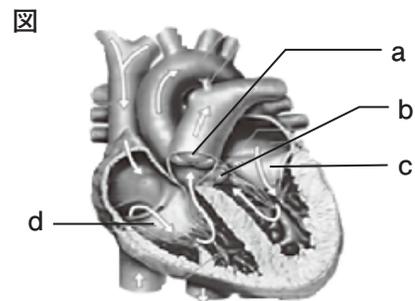
令6 高等学校看護 (4枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Aさん(83歳・男性)は、大動脈弁閉鎖不全症があり、3年前に経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)を受けた。その際、術後5日目に循環器合併症の(a)Ⅲ度(完全)房室ブロックが出現し、ペースメーカーが植え込まれた。退院後、日常生活に支障なく過ごしていたが、(b)2週間前から心不全症状があり、精査・治療目的で入院となった。治療としては、酸素療法、薬物療法が行われた。検査の結果、大動脈弁の血液の逆流が再度認められた。Aさんは妻(82歳)と二人暮らしで、支援をしてくれる子どもは近くにいない。Aさんは老人性難聴があり、うまくコミュニケーションがとれない。

- 1 図は心臓の断面の解剖図を表している。図中のa～dの弁について、それぞれの名称を書きなさい。
- 2 心臓の正常な刺激伝導系の流れについて、次の(①)～(④)に入る適切な語句を書きなさい。
(①) → (②) → (③) → 右脚・左脚 → (④)
- 3 下線部(a)について、その波形として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。



ア



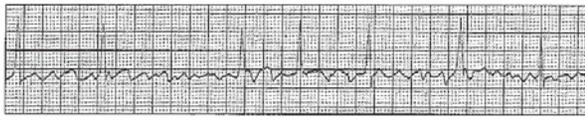
イ



ウ



エ



- 4 ペースメーカー植え込み術を受けたAさんと妻への指導として適切でないものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 携帯電話の使用は、植え込み部位まで15cm以上離す。
イ 機械が正常に作動しているかどうかを確認するために、脈拍を1日1回必ず観察する。
ウ 手足の浮腫、めまい、息苦しさ、吃逆などが出現したときは、受診する。
エ 電子商品監視機器が入り口に設置されている施設では、中央をすみやかに通る。
オ ペースメーカー手帳は障害認定を受ける際に大切なものであるため、常に家で保管しておく。
- 5 下線部(b)について、Aさんに一番現れやすい心不全症状として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 下肢の浮腫 イ 労作時の息切れ ウ 食道静脈瘤 エ 胸痛
- 6 慢性心不全患者に対する生活指導として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 排泄後の休息 イ 肺炎球菌ワクチン接種の回避 ウ 食直後の散歩の奨励 エ 蛋白質を制限した食事
- 7 Aさんは、入院して3日目にレントゲン検査に行くことになったため、携帯用酸素ボンベを用意した。500L酸素ボンベ(14.7MPaで充填)の残圧は5MPaであった。酸素ボンベの残量は何Lになるか、計算する式を書き、答えを四捨五入して整数で書きなさい。
- 8 老人性難聴の特徴として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 左右対称性の聴力低下をきたした状態である。
イ 内耳まで音が伝わりにくい伝音難聴に分類される。
ウ 聴力の低下は高音域(4000Hz以上)から徐々に始まる。
エ 連続する音を一つひとつとらえられず、単語が聞き取れない。

II 国際看護について、次の問いに答えなさい。

- 1 国連サミットで採択された2016年から2030年までの開発に関する国際目標を定めたものとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア プライマリヘルスケア(PhC) イ ミレニアム開発目標(MDGs)
ウ 持続可能な開発目標(SDGs) エ 国連開発計画(UNDP)
- 2 日本における政府開発援助(ODA)の実施機関として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 世界保健機関(WHO) イ 国際協力機構(JICA)
ウ ユニセフ(UNICEF) エ 国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)
- 3 世界的に感染者数の多い三大感染症として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア デング熱 イ マラリア
ウ エイズ エ 結核

令6 高等学校看護 (4枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅲ 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Bさん(2歳・男児)は、発熱(39度台)、湿性咳嗽がみられ、近所の小児科を受診したが、感冒の疑いで内服薬が処方され帰宅した。しかし、その後も高熱が5日間続き、背部に発疹が出現し、さらに嘔吐が3回あったため、救急外来を受診した。検査の結果、川崎病および脱水と診断され、入院した。

- 正常に発達している2歳児の行動として最も適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア ハサミを使うことができる。 イ 自分で絵本のページをめくることができる。
ウ 他の子と一緒に同じ遊びができる。 エ 便意を感じて1人でトイレに行って排便することができる。
オ 片足で数秒間立つことができる。
- 幼児期のバイタルサイン測定として最も適切なものを、次のア～オから2つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 血圧の目安は、収縮期血圧は90～100mmHg、拡張期血圧は60mmHgである。
イ 体温測定中動いてしまう場合、絵本を読んで気を紛らわすなど、ディストラクションを実施しながら測定するとよい。
ウ 原則として、体温・呼吸数・脈拍・血圧の順で進めることが望ましい。
エ 事前に人形や絵などを用いて子どもに測定の流れを説明することは、プレパレーションを促すうえで有効である。
オ 呼吸は胸式呼吸のため、胸部の動きを観察して測定する。
- 次の文章は、小児の脱水の原因を説明したものである。文中の(①)～(④)に入る適切な語句を書きなさい。
小児は、成人と比べて脱水になりやすい。その理由として、体液における水分・(①)の割合が多い、体重あたりの必要な(②)や(③)が多い、新生児や乳児では、尿細管機能および糸球体濾過機能などの腎機能が未熟であるため、(④)力が弱い、発熱や胃腸炎など脱水の原因となる疾患に罹患する機会が多いことが考えられる。
- 入院時、Bさんにみられる症状として適切なものを、次のア～エからすべて選んで、その符号を書きなさい。
ア 苺舌 イ 関節痛 ウ 両側眼球結膜の充血 エ チアノーゼ
- 川崎病の急性期における治療の目標は、冠動脈瘤の発症頻度を最小限にすることである。冠動脈の観察で最も重要な検査として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 心電図 イ 静脈血採血 ウ 胸部レントゲン エ 心臓エコー
- 入院2日目にBさんを生徒が受け持つことになった。「母親から『手足が腫れているのは今後もそのままですか?』と聞かれ、どのように返事をしたらいいかわからない」と生徒から相談があった。あなたは、引率教員として生徒にどのように指導、助言するか、具体的な症状の経過とその看護を踏まえて書きなさい。

Ⅳ 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Cさん(21歳・女性)は、大学生で一人暮らしをしている。4年生になってから登校する姿がみられず、大学からの連絡で心配した両親がアパートを訪れると、部屋は散乱しており、一人でブツブツと何かつぶやいている。アパートの管理人から、「夜中に大声で叫ぶことがあり苦情が出始めている。」と言われた。Cさんは、母親に「誰かに見張られている。」と言い、興奮し始めたため、嫌がるCさんを両親が精神科病院へ連れて行った。Cさんは「自分は病気ではない。誰かが見張っているからだ。」と入院を拒否したが、診断の結果、統合失調症と診断され、両親が同意し即日入院となった。

- Cさんの入院の方法を何というか、書きなさい。
- 統合失調症の陽性症状として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 感情の平板化 イ 感情表出の減少 ウ 思考障害 エ 意欲の低下
- 急性期にある精神科入院患者の看護として適切なでないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 患者の休息や安心感を最優先にした環境調整を図る。
イ 日常生活行動の支援を行う。
ウ 隔離室の場合、患者を刺激しないように、入室は原則1人の看護師で対応する。
エ 安心感が得られるように、落ち着いた態度で接し、患者を追いつめないようにする。
- 入院当日にCさんに伝える内容として最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 入院の同意は両親から得たこと イ 入院の目的 ウ 病気の今後の見通し エ 洗濯や入浴の方法
- Cさんは、夜間は睡眠がとれているが、入院6日目頃から日中も臥床したまま、看護師の声かけにも反応しない。この時期の看護師の対応として最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 作業療法への参加を促す。 イ Cさんのペースで日常生活を送れるよう環境を整える。
ウ 寝る前の薬物の服用を中止するよう医師に相談する。 エ 訪室の度に声を掛け、励ます。
- 3か月後、Cさんは状態が落ち着き退院の話合いが始まった。大学に復学できるか心配している両親への声掛けとして最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 「復学ができるような状態になるまで入院を延期しましょう。」
イ 「Cさんは症状がよくなったので大学生活は安心してください。」
ウ 「まずは日常生活に慣れることを目標にしましょう。」
エ 「復学の時期は、大学に任せましょう。」
- Cさんの退院支援のために病棟看護師が優先的に連携する職種を、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 介護福祉士 イ ケアマネージャー ウ 退院後生活環境相談員 エ 臨床心理士

令6 高等学校看護 (4枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

V 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Dさん(55歳・女性)は、昨年、筋萎縮性側索硬化症(ALS)と確定診断を受けた。現在、仕事を退職した夫(62歳)と二人暮らしである。今年に入って上肢の筋力低下も進行し衣服の着脱困難がみられた。下肢の脱力感などもあり、さらに頭痛や息苦しさを時々訴えるようになった。このため、訪問看護サービスを開始することとなった。

- 筋萎縮性側索硬化症(ALS)について述べた文として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 感覚ニューロンの脱落によって起こる。 イ 四肢の筋力が進行性に低下し、筋肉が萎縮する。
 ウ 膀胱・直腸障害はみられない。 エ 現在のところ有効な治療法はない。
- 筋萎縮性側索硬化症(ALS)でみられにくい症状を、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 構音障害 イ 線維束性収縮 ウ 眼球運動障害 エ 嚥下障害
- Dさん夫婦は、確定診断を受けた際、難病患者に対する医療費等について医師より説明を受けた。医療費助成制度(特定医療費の支給)として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 患者負担割合は3割である。 イ 市町村による支給認定が必要である。
 ウ 特定医療費受給者証の有効期限は3年である。 エ 都道府県が指定した医師の診断が必要である。
- 次の文章は、下線部について説明したものである。文中の(①)～(⑥)に入る適切な語句を書きなさい。
 (①)筋が障害されると呼吸(②)に陥り、(③)血症となるため、頭痛や息苦しさを訴えることもある。そのため、(④)や(⑤)の有無、呼吸数、(⑥)の値などを観察する。
- 退院したDさんを、訪問看護ステーションで実習する生徒が受け持つこととなった。Dさんに対する看護目標を3つ書きなさい。
- 呼吸困難のあるDさんの看護として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 消化のよい食品を選び、分食をすすめ、食べ過ぎないように指導する。
 イ 患者の不安・恐怖は呼吸困難を増強させるため、言葉に出さないよう指導する。
 ウ 空気の清浄性の問題ではないので、換気の必要はない。
 エ 体力の消耗を防ぐため、極力動かないよう指導する。
- 6か月後、Dさんは入院し、気管切開による人工呼吸療法を行うこととなった。気管内吸引についての退院指導として、最も適切な説明はどれか、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 気道内圧が上昇したら吸引する。 イ 吸引カテーテル挿入開始から終了までの時間は20秒以内にする。
 ウ 吸引時は気管カニューレのカフ圧を上げる。 エ 吸引時、人工呼吸器の酸素濃度は変更しないようにする。

VI 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Eさん(30歳・初産婦)は、妊娠12週である。妊娠や出産への不安が強く、外来の看護師に質問してくることが多い。産科外来では年間を通じて生徒が実習を行っている。

- 妊娠の基礎知識として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア ヒトの体細胞の染色体は20対の常染色体と1対の性染色体から構成される。
 イ 妊娠反応は、妊娠12週で陽性となる。
 ウ 羊水は羊膜腔を満たす弱アルカリ性の液体である。
 エ 子宮底長の計測は、恥骨結合上縁から臍高までをはかる。
- 生徒は看護師からレオポルド触診法において、胎向を確認するものはどれかと質問を受けた。
図1のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- Eさんは、外来看護師に妊娠期の体の変化について質問してきた。Eさんへの返答として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 「排尿の回数が増えやすくなります。」
 イ 「下痢しやすくなります。」
 ウ 「腹部や大腿部に妊娠線がでてくることがあります。」
 エ 「顔にそばかすのような色素斑がみられることがあります。」
- 妊娠期の生活指導として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 「旅行は妊娠初期でなければ大丈夫です。」
 イ 「妊娠中は、家庭や職場の受動喫煙も避けましょう。」
 ウ 「妊娠中は食物繊維や葉酸の多く含む食品を摂取しましょう。」
 エ 「靴はかかとの幅が広く、高さが2～3cm程度のものを選びましょう。」
- Eさんは妊娠26週となった。この時期の妊婦健康診査は、国の基準では何週間ごとに行うか書きなさい。
- Eさんは、7月3日に妊婦健康診査のために来院した。母子手帳に記入するため、生徒は妊娠週数と日数を確認された。**図2**のカレンダーを確認して、受診日当日の妊娠週数と日数を書きなさい。

図1



図2 7月のカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

△受診日 ○分娩予定日

令6 高等学校看護解答用紙 (4枚のうち4)

総計		

看護

I	1	a			b		
		c			d		
	2	①			②		
		③			④		
	3		4		5		6
	7	式：			答え：		
8							
II	1		2		3		
III	1		2				
	3	①			②		
		③			④		
	4			5			
6							
IV	1						
	2		3		4		
	5		6		7		
V	1		2		3		
	4	①			②		
		③			④		
		⑤			⑥		
	5						
	6		7				
VI	1		2		3		
	4						
	5	() 週間に1回	6	() 週 () 日			

I		

II		

III		

IV		

V		

VI		

令6 高等学校看護模範解答 (4枚のうち4)

総計	200

I	1	a 肺動脈弁	b 大動脈弁					
		c 僧帽弁 (左房室弁)	d 三尖弁 (右房室弁)					
	2	① 洞結節 (洞房結節)	② 房室結節					
		③ ヒス束	④ プルキンエ線維					
	3	ウ	オ					
		4	イ					
		6	ア					
	7	式: $500 \times 5 \div 14.7$	答え: 170 L					
8	イ							
II	1	ウ	2	イ	3	ア		
III	1	イ	2	イ	エ			
	3	① 細胞外液	② 水分量 (不感蒸泄)					
		③ 不感蒸泄 (水分量)	②③順不同可	④ 尿濃縮				
	4	ア・ウ	5	エ				
	6	<p><症状経過に対する生徒の理解度の確認> 症状経過に対する理解度を確認し、知識が不足しているところを気付かせ、学習を促す。 <今後の具体的な症状の経過と看護> 発症してから10～15日くらいで解熱とともに腫れが改善する。手の先から皮がむけ始めるが、手のひらや足の裏以上に広がることはない。それが落ち着けば元の状態に戻る。その間は、感染しないように爪を短く切り、手を清潔にしておく。必要ならば手袋などをつけて保護する。</p>						
	IV	1	医療保護入院	2	ウ	3	ウ	4
	5	イ	6	ウ	7	ウ		
V	1	ア	2	ウ	3	エ		
	4	① 呼吸	② 不全					
		③ 低酸素	④ チアノーゼ (喘鳴)					
		⑤ 喘鳴 (チアノーゼ)	④⑤順不同可	⑥ SpO ₂ (経皮的動脈血酸素飽和度)				
	5	<p>症状に応じて、疲労しない程度に日常生活が送れる。</p> <p>合併症を起こさず、安楽な状態で治療を受けることができる。</p> <p>病状の進行に伴う心身の苦痛が緩和され、本人が望む生活を送ることができる。</p>						
	6	ア	7	ア				
VI	1	ウ	2	イ	3	イ		
	4	ア						
5	(2) 週間に1回	6	(36) 週 (5) 日					

I	54

II	9

III	42

IV	22

V	51

VI	22